



気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）

第10回運営委員会

【資料1】

日時： 平成30年10月4日（木）16:00～18:00

場所： 気象庁5階 大会議室

議題

< 審議事項 >

- 1．運営委員の変更
- 2．第3回WXBC総会、気象ビジネスフォーラム

< 報告事項 >

- 1．人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更
- 2．WXBC共催の承認
- 3．WXBC後援の承認
- 4．人材育成WG報告
- 5．新規気象ビジネス創出WG報告
- 6．進行中の気象ビジネスの状況
- 7．広報関係
- 8．今後のスケジュールについて
- 9．その他

< 審議事項 >

- 1 . 運営委員の変更
- 2 . 第3回WXBC総会、気象ビジネスフォーラム

審議事項 1. 運営委員の変更

● 2年の任期（H29.3.11～H31年の総会まで）の途中での運営委員の変更

（敬称略）

変更後		変更前（五十音順）		変更理由
遠山 雅之	（株）ウェザーニューズ セールス&マーケティンググループ グループリーダー	遠山 雅之	（株）ウェザーニューズ セールス&マーケティンググループ グループリーダー	
大野 宏之	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 上級研究員	大野 宏之	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 上級研究員	
沖野 剛史	（株）東芝 技術統括部 技術企画室 参事	沖野 剛史	（株）東芝 技術統括部 技術企画室 参事	
足海 義雄	（株）ハレックス 常務取締役	足海 義雄	（株）ハレックス 常務取締役	
木本 昌秀	東京大学大気海洋研究所 教授	木本 昌秀	東京大学大気海洋研究所 教授	
越塚 登	東京大学大学院情報学環 教授	越塚 登	東京大学大学院情報学環 教授	
櫻井 康博	（一財）日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部 部長	櫻井 康博	（一財）日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部 部長	
菅波 潤	富士通（株） テクニカルコンピューティングソリューション事業本部 TC統括営業部 シニアマネージャー	菅波 潤	富士通（株） テクニカルコンピューティングソリューション事業本部 TC統括営業部 シニアマネージャー	
橘 克憲	（株）パスコ システム事業部 事業部長	橘 克憲	（株）パスコ システム事業部 事業部長	
田中 真司	ヤフー（株） メディアカンパニー ライフライン事業本部 Yahoo!天気・災害 サービスマネージャー	田中 真司	ヤフー（株） メディアカンパニー ライフライン事業本部 Yahoo!天気・災害 サービスマネージャー	
田原 春美	先端IT活用推進コンソーシアム 副会長	田原 春美	先端IT活用推進コンソーシアム 副会長	
中田 雅史	アサヒ飲料（株） 理事	中田 雅史	アサヒ飲料（株） 理事	
秦野 芳宏	（株）ローソン 経営戦略本部 副本部長	秦野 芳宏	（株）ローソン 経営戦略本部 本部長補佐	人事異動
金城 秀樹	（株）三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部 デジタルイノベーション室 シニアプロジェクトマネージャー	平田 祥一郎	（株）三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部 知的財産室 シニアマネージャー	人事異動
藤川 優	大塚製薬（株） 業務管理部 次長	藤川 優	大塚製薬（株） 業務管理部 次長	
大野 慎吾	三井住友海上火災保険（株） 商品本部 次世代開発推進チーム長	大野 慎吾	三井住友海上火災保険（株） 商品本部 次世代開発推進チーム長	
村上 文洋	（株）三菱総合研究所 社会ICT事業本部 ICT・メディア戦略グループ 主席研究員	村上 文洋	（株）三菱総合研究所 社会ICT事業本部 ICT・メディア戦略グループ 主席研究員	
立仙 和巳	（株）日立製作所 サービス営業推進本部 ビジネスプロデュース企画部 主管	立仙 和巳	（株）日立製作所 サービス営業推進本部 ビジネスプロデュース企画部 主管	

第 3 回WXBC総会（案）

日時：平成31年2月28日11時00分～11時45分（受付開始：10時15分）

場所：一橋講堂 2 階 講堂

定員：494名（各会員1名を優先し、残席数に応じて先着で受付）

次第：

- 1 . 開会 挨拶：越塚会長
- 2 . 運営委員の選任（事後承認）
- 3 . 活動報告
 - 人材育成WG関連：田原座長
 - 新規気象ビジネス創出WG関連：村上座長
 - 運営委員会開催状況、広報活動、関係機関と連携した活動等の報告
- 4 . 平成31年度活動計画（案）の承認
- 5 . 会長、副会長、運営委員の選任（2年に一度改選）
- 6 . 質疑
- 7 . 閉会 挨拶：気象庁長官

第 3 回気象ビジネスフォーラム（検討中）

目的・概要

気象データを活用したビジネス創出のきっかけとなるよう、会員に気象ビジネスの着想・ヒントを与えられる内容とする。具体的には、「AI、IoTが切り開くロングテールマーケット～新たな気象ビジネス市場の創出・活性化～」として、AI、IoTの展望を語ることができる有識者による講演を行うとともに、AI、IoTと気象データを掛け合わせた中小企業におけるビジネスの展開についてパネルディスカッションを行う。また、展示を行い、企業間のマッチングを促進し、気象データを活用した新たなビジネスの発掘につながることを目指す。

日時：平成31年2月28日（木）10時00分～17時00分（展示）

各WG報告・基調講演・パネルディスカッション他：13時00分～16時30分（受付開始：12時15分）

場所：一橋講堂

対象者：フォーラム：会員（優先）及び非会員 494名（先着順）

展示主体：会員のみ（32～48ブース）

司会：気象キャスター又はアナウンサー

企画関連スケジュール：

平成30年11月中：運営委員にメール照会・承認

平成30年12～1月？：第11回運営委員会で承認内容の報告

第 3 回気象ビジネスフォーラム（ 検討中 ）

イベント概要及びタイムスケジュール

13時00分～13時05分：国土交通大臣によるご挨拶（ 5分 ）

13時05分～13時10分：WXBC会長ご挨拶（ 5分 ）

13時10分～13時30分：人材育成WG成果発表（ 20分 ）

13時30分～13時50分：新規気象ビジネス創出WG成果発表（ 20分 ）

13時50分～14時35分：基調講演（ AI、IoTの専門家 ）(45分)

14時35分～14時50分：休憩（ 15分 ）

14時50分～16時00分：パネルディスカッション（ 70分 ）

16時00分～16時05分：気象庁長官によるご挨拶（ 5分 ）

16時05分～16時10分：写真撮影（ 5分 ）

< 報告事項 >

< 報告事項 >

- 1 . 人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更
- 2 . WXBC共催の承認
- 3 . WXBC後援の承認
- 4 . 人材育成WG報告
- 5 . 新規気象ビジネス創出WG報告
- 6 . 新たな気象ビジネスの状況
- 7 . 広報関係
- 8 . 今後のスケジュールについて
- 9 . その他

報告事項 1 . 人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更

● 人材育成WG（平成30年9月25日現在：52社）（敬称略）

座長：AITC 田原 春美

副座長：（一社）日本気象予報士会 岩田 修

所属		備考	所属		備考
1	AITC	運営委員	31	株式会社エーティーエルシステムズ	
2	JapanTaxi株式会社		32	株式会社彩洋	
3	株式会社石川コンピュータ・センター		33	株式会社タニタハウジングウェア	
4	岐阜大学大学院		34	株式会社Fusic	
5	一般社団法人全国清涼飲料連合会		35	リーディングエッジ株式会社	
6	徳島大学		36	株式会社フューチャラボラトリ	
7	日通学園流通経済大学		37	株式会社シブデータセンター	
8	一般財団法人日本気象協会	運営委員	38	株式会社NTTデータ・エム・シー・エス	
9	一般社団法人日本気象予報士会		39	株式会社富士通アドバンスエンジニアリング	
10	公益社団法人日本バス協会		40	株式会社BCN	
11	（国研）農業・食品産業技術総合研究機構	運営委員	41	株式会社電通テック	
12	ハイパーアグリ株式会社		以下は、第9回運営委員会以降の加入		
13	株式会社ハレックス	運営委員	42	株式会社オリコム	
14	株式会社日立製作所	運営委員	43	株式会社ソシオリカ	
15	富士通株式会社	運営委員	44	一般財団法人日本ファッション協会	
16	株式会社北海道総合技術研究所		45	株式会社Luminateo	
17	ホッピービバレッジ株式会社		46	学校法人関東学院	
18	株式会社マーチャンダイジング・オン		47	国際商務株式会社	
19	株式会社レッドマルスAD ベンチャー		48	株式会社JMDC	
20	株式会社アイシーエス		49	西松建設株式会社	
21	光陽無線株式会社				
22	ジオテック技術士事務所				
23	株式会社コム・アンド・コム				
24	広島工業大学				
25	株式会社マルツ電波				
26	ユニー株式会社				
27	株式会社ルグラン				
28	ANAホールディングス株式会社				
29	東レ株式会社				
30	慶應義塾大学				

3社は非公開

報告事項 1 . 人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更

● 新規気象ビジネス創出WG（平成30年9月25日現在：98社）（敬称略）

座長：三菱総合研究所 村上 文洋

副座長：富士通（株） 菅波 潤

所属	備考	所属	備考	所属	備考	所属	備考
1 株式会社IHI		31 一般社団法人日本能率協会		61 株式会社マルツ電波		90 株式会社JMDC	
2 JapanTaxi株式会社		32 公益社団法人日本バス協会		62 ユニー株式会社		91 学校法人関東学院	
3 NTT空間情報株式会社		33 ハイパーアグリ株式会社		63 株式会社ルグラン		92 オーシャンソリューションテクノロジー株式会社	
4 株式会社NTTデータ経営研究所		34 株式会社パスコ	運営委員	64 エスベック株式会社		93 有限会社アルテ	
5 M-SAKUネットワークス		35 株式会社ハレックス	運営委員	65 Splunk Services Japan合同会社		94 西松建設株式会社	
6 株式会社 Realmedia Lab .		36 株式会社日立製作所	運営委員	66 東レ株式会社			
7 TISソリューションリンク株式会社		37 富士通株式会社	運営委員	67 ゲヒルン株式会社			
8 株式会社TRUEDATA		38 株式会社フランクlinジャパン		68 ANAホールディングス株式会社			
9 石川コンピュータ・センター		39 ブランティオ株式会社		69 一般社団法人 日本ドローン協会			
10 株式会社ウェザーニューズ	運営委員	40 株式会社北海道総合技術研究所		70 慶應義塾大学			
11 株式会社エムティーアイ		41 株式会社ボッケ		71 株式会社キャレット・アスタリスク			
12 応用地質株式会社		42 ホッピービバレッジ株式会社		72 株式会社彩洋			
13 大塚製薬株式会社	運営委員	43 株式会社マーチャングデザイン・オン		73 リーディングエッジ株式会社			
14 沖電気工業株式会社		44 三井住友海上火災保険株式会社	運営委員	74 株式会社タニタハウジングウェア			
15 株式会社環境エネルギー研究所		45 株式会社 三菱総合研究所	運営委員	75 株式会社エーティーエルシステムズ			
16 株式会社構造計画研究所		46 株式会社ミライト・テクノロジーズ		76 株式会社Fusic			
17 国際航業株式会社		47 明星電気株式会社		77 株式会社フューチャーラボトリ			
18 佐川急便株式会社		48 地方独立行政法人山口県産業技術センター		78 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社			
19 シャープ株式会社		49 株式会社ライフビジネスウェザー		79 株式会社シップデータセンター			
20 新日鉄住金ソリューションズ株式会社		50 リアルワールドゲームス株式会社		80 株式会社NTTデータ・エム・シー・エス			
21 株式会社スポーツウェザー		51 株式会社レッドマルスADベンチャー		81 株式会社富士通アドバンスドエンジニアリング			
22 一般社団法人全国清涼飲料連合会	運営委員	52 株式会社ローリス		82 株式会社BCN			
23 ソフトバンク株式会社		53 NextDrive株式会社		83 株式会社電通テック			
24 株式会社東芝	運営委員	54 株式会社アイシーエス		以下は、第9回運営委員会以降の加入			
25 徳島大学		55 光陽無線株式会社		84 日本工営株式会社			
26 日通学園流通経済大学		56 株式会社コム・アンド・コム		85 一般財団法人日本ファッション協会			
27 日本IBM株式会社		57 ジオテック技術士事務所		86 株式会社Luminateo			
28 日本気象株式会社		58 シムマヤジオ合同会社		87 株式会社ソシオリカ			
29 日本電信電話株式会社		59 一般財団法人水源環境センター		88 株式会社オリコム			
30 株式会社日本ネットワークサービス		60 広島工業大学		89 国際商務株式会社			

4社は非公開

報告事項 2 . WXBC共催の承認について

「第2回気象ビジネス学生アイデアソン」の福岡管区気象台との共催（9/21にメールにて照会→承認）

【承認申請の理由】

「気象ビジネス学生アイデアソン」は、30歳以下の学生を対象に、長期的には気象ビジネスに携わる人材育成や気象業務への関心を深めていただくことを目的に、気象ビジネスについてIoT・AI技術と関連づけながらアイデアを創出するものである。

本イベントは、WXBCと親和性が強く、また今後の気象ビジネスを担う人材への普及啓発や気象データの高度な利活用促進に寄与するものであるため、WXBCとの共催として開催する。

「第2回気象ビジネス学生アイデアソン」の企画概要

企画名：「第2回 気象ビジネス学生アイデアソン ～あなたのアイデアを社会に発信しませんか？～」

日時：平成30年12月15日（土）10:00～17:00

場所：福岡管区気象台

< 目的 >

本企画は、気象ビジネスについてIoT・AI技術と関連づけながらアイデアソン形式でアイデアを創出するものである。本企画では、WXBCが主導する流れを引き継ぎ、若い方々に気象業務への関心を深めていただき、長期的には気象ビジネス人材育成に寄与することを目的とする。

< 対象者・参加定員 >

対象：福岡市周辺の学生（高校生、大学生、専門学校生等） 30歳以下

参加者定員：30名

< 概要 >

- ・九州大学高野准教授より、IoT等の先端技術と気象データを組み合わせて利用する手法等について解説する。
- ・アイデアソン形式で気象データを用いたビジネスのアイデアを出してもらい、優秀アイデアに対して表彰する。
- ・優秀アイデアについては、発案者の同意のもとWXBC及び福岡管区気象台ホームページ等に公表する。

○ 第2回東京公共交通オープンデータチャレンジのオープンデータパートナー

イベント名：第2回東京公共交通オープンデータチャレンジ

イベント概要：公共交通オープンデータ協議会のデータを用いたアプリケーションやサービスの構築や、アイデアの立案等に関するコンテストを開催し、複雑な東京の公共交通を便利に活用できるような提案を世界中から募集する。

応募期間：2018年7月17日 ～ 2019年1月15日

実施期間：2018年7月17日 ～ 2019年3月31日

結果発表・表彰式：2019年3月予定

オープンデータパートナー：オープンデータ活動に協力的な組織



1 . 報告事項

(1) 人材育成WGの体制について

(2) イベント開催報告

- ・8月 3日 (金) 気象データを"R"で可視化してみよう！
- ・9月 7日 (金) 平成30年度第2回WXBCセミナー@東京

(3) イベント開催計画

- ・10月11日 (木) アメダス気象データ分析チャレンジ！@名古屋
- ・11月 2日 (金) メッシュ気象データ分析チャレンジ！
- ・11月 9日 (金) 平成30年度第3回WXBCセミナー@東京
- ・地方展開計画

(4) WG内勉強会活動報告

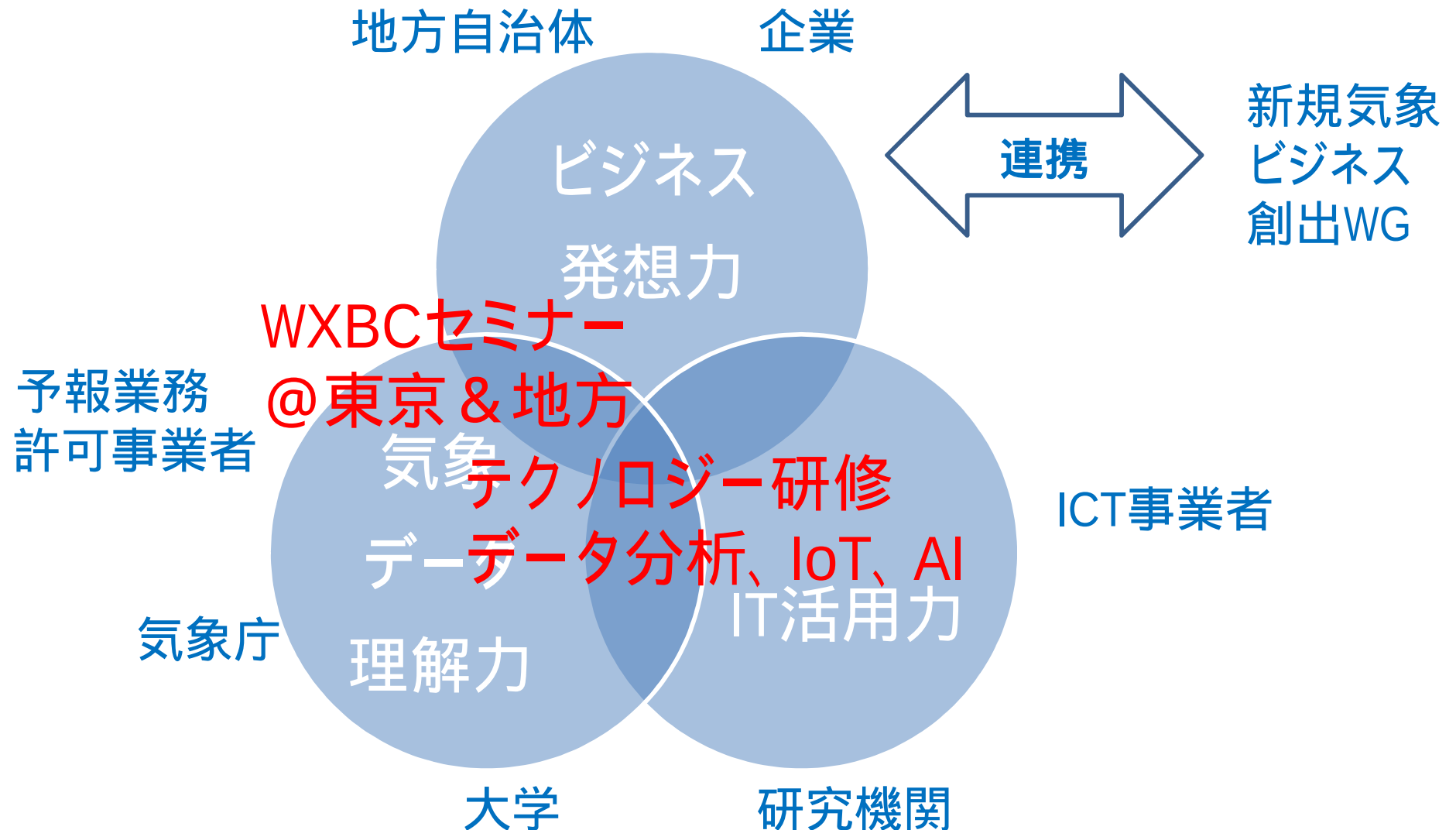
- ・気象ビジネスの取り組み紹介
- ・気象×IoT勉強会

参考資料 1 : 2年目の活動目標

1年目: 気象データの理解と認知度の向上に注力! (理解しよう!)

2年目: 気象データ利用の啓発に注力! (触ってみよう! 試してみよう!)

3年目: 気象データ利用の向上に注力! (使ってみよう!)

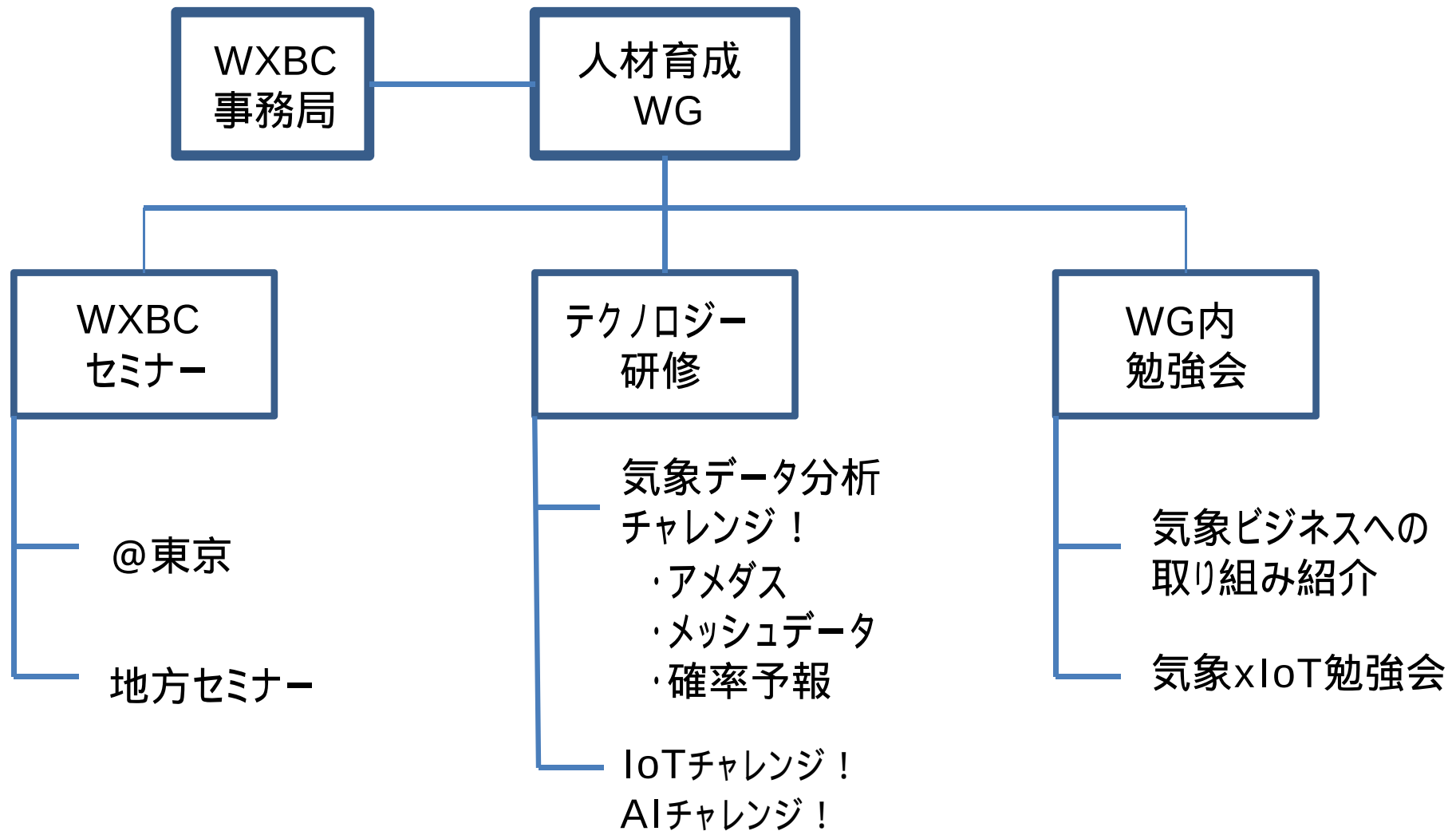


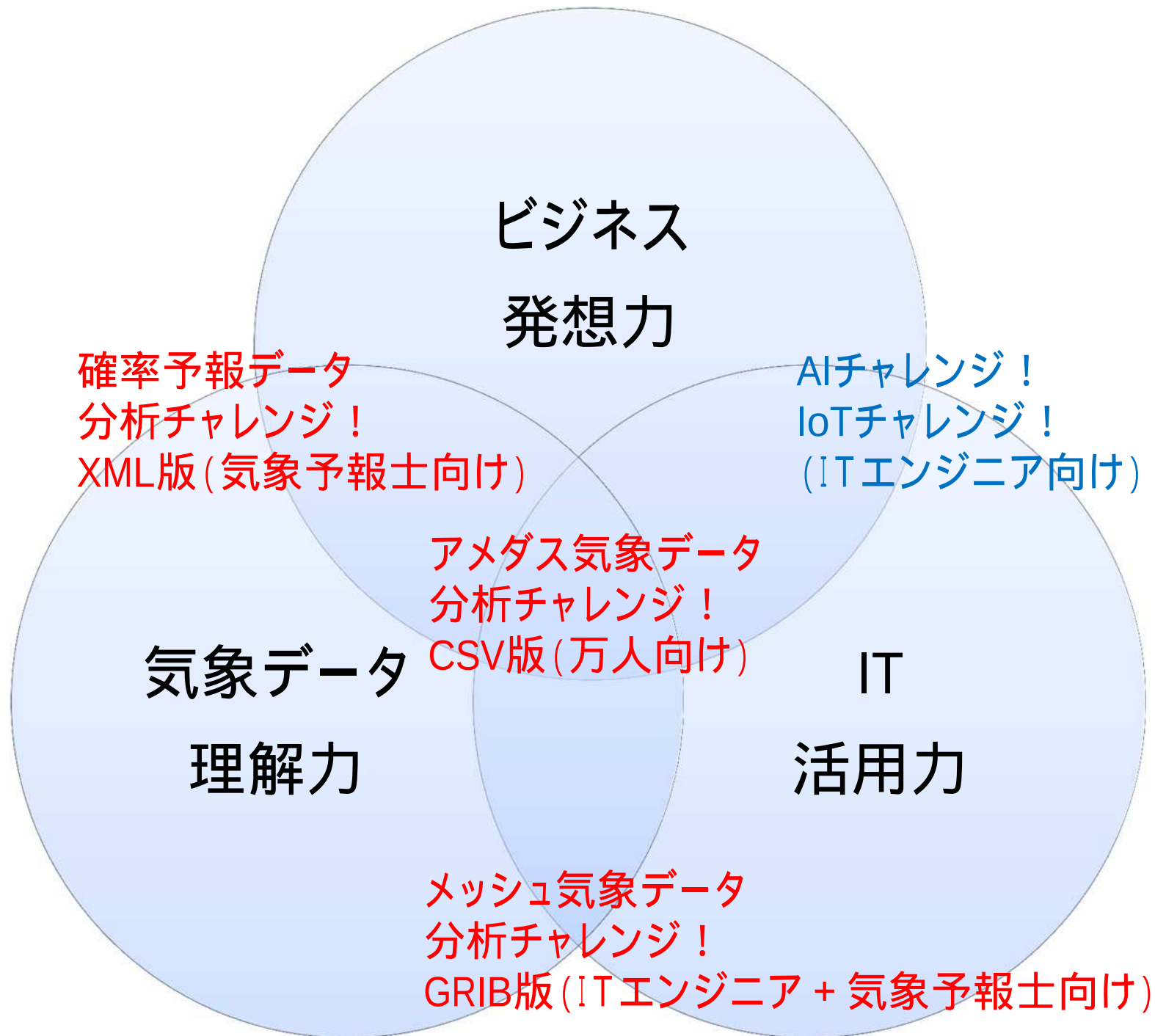
(1) 人材育成WGの体制について

座 長 : AITC 田原 春美

副座長 : 一般社団法人日本気象予報士会 岩田 修

: NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭





報告事項 4 . 人材育成WG報告

(2) イベント開催報告 (平成30年7月7日～平成30年10月4日)

■ 気象データを"R"で可視化してみよう！

開催日時：平成30年8月3日 (金) 14:00～17:30

概要：アメダス気象データ分析チャレンジ！ (Excel版) をプログラミング言語"R"で実施、AITCとの共催

気象データの紹介～気象データと組み合わせるデータの紹介I～

データ分析の基礎と個人ワーク～回帰分析の基礎～

気象データと組み合わせるデータの紹介II

参加者：30名 + スタッフ8名

■ 平成30年度第2回WXBCセミナー@東京

開催日時：平成30年9月7日 (金) 11:00～16:30

概要：気象データの全体像 + 気象データの入手方法 (午前、希望者のみ)

週間予報・長期予報データの概要・特徴 + データの形式 (CSV)

海水温・海流予報格子点資料データの概要・特徴 + データの形式 (GRIB2)

気象海象情報サービスの事例 日本無線株式会社 様

気象ビジネスに地図を活用しませんか？

～国土地理院のウェブ地図「地理院地図」のご紹介～ 国土地理院 様

気象情報を活用した潜在リスクの把握とリアルタイム情報

『災害リスク情報サービス(DR-Info)』 株式会社パスコ 様

参加者：午前44名、午後113名

■ 人材育成WG： 7月20日 (金)、9月14日 (金)

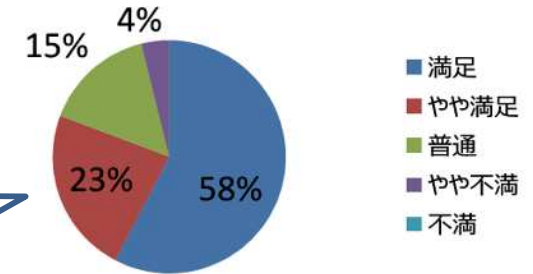
報告事項 4 . 人材育成WG報告

「気象データを”R”で可視化してみよう！」開催報告

開催日時 8月3日(金) 14:00~17:30

開催場所 気象庁 大会議室(気象庁5階)

全体の満足度
81%
(満足 + やや満足の合計)



参加者

先端IT活用推進コンソーシアム(AITC)会員枠: 14名 + WXBC会員枠: 16名 = 計 30名
他 オブザーバー(WXBC人材育成WGメンバー): 2名、講師・スタッフ(AITC・気象庁): 8名

概要

0. R導入サポートタイム(Rがインストール未了の参加者向け)

- | | | |
|------------------------------|--------|---------|
| 1. オープニング(15分) | : 気象庁 | 福井 雄仁 |
| 2. 気象データの紹介(30分) | : 気象庁 | 分木 恭朗 |
| 3. 気象データと組み合わせるデータの紹介I(10分) | : AITC | 荒本 道隆 様 |
| 4. データ分析の基礎と個人ワーク(100分) | : AITC | 荒本 道隆 様 |
| ----- 休憩(10分) ----- | | |
| 5. 回帰分析の基礎(20分) | : AITC | 荒本 道隆 様 |
| 6. 気象データと組み合わせるデータの紹介II(15分) | : AITC | 荒本 道隆 様 |
| 7. クロージング(15分) | : 気象庁 | 福井 雄仁 |



報告事項 4 . 人材育成WG報告

平成30年度第2回WXBCセミナー@東京 開催報告

目的

・週間・1か月・3か月予報データ、海水温・海流予報データについて、一般には説明されることが少ないデータの内容やフォーマット、利用上の注意点などを昨年よりさらに掘り下げて説明し、データの取り扱い方を理解していただく
・地理空間情報関係における気象データのビジネス活用事例や清涼飲料及び家電流通分野における2週間先までの気温予測の有効活用事例を通して、これらのデータの活用方法を理解していただく

開催日

9月7日(金)

開催場所

気象庁講堂

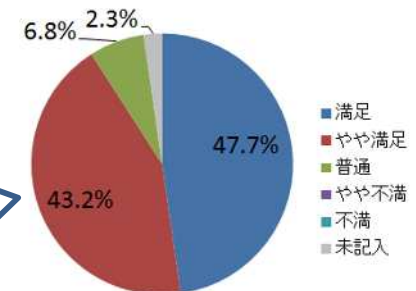
参加者

午前44名、午後113名(事前申し込み128名)

全体の満足度

90.9%

(満足 + やや満足の合計)



時間割

- 11:00-12:00 気象データの全体像 + 気象データの入手方法(基礎知識:希望者のみ)
- 13:00-13:10 気象庁情報カタログ等の紹介
- 13:10-13:40 週間予報・長期予報データの概要・特徴 + データの形式(CSV等)
- 13:40-14:10 海水温・海流予報格子点資料データの概要・特徴 + データの形式(GRIB2)
- 14:10-14:20 気象海象情報サービスの事例 日本無線株式会社 様
- 14:20-14:30 休憩
- 14:30-15:10 気象ビジネスに地図を活用しませんか?
～国土地理院のウェブ地図「地理院地図」のご紹介～ 国土地理院 様
- 15:10-15:50 気象情報を活用した潜在リスクの把握とリアルタイム情報
『災害リスク情報サービス(DR-Info)』 株式会社パスコ 様
- 16:30 閉会

会場後方に、会員様のご協力を頂き、気象データに触れることのできる体験コーナーを設置。

- ・国土地理院様「地理院地図」
- ・日本無線株式会社様「J-MARINE CLOUD」
- ・気象庁HP「気候リスクポータルサイト」
- ・気象庁HP「海洋の健康診断表」



報告事項 4 . 人材育成WG報告

(3) イベント開催計画 (平成30年7月7日～平成30年10月4日)

■ アメダス気象データ分析チャレンジ！ @名古屋

開催日時：平成30年10月11日 (木) 9:00～17:00

概要：アメダス気象データ分析チャレンジ！ (Excel版) を名古屋で実施

参加者：25名 (先着順)

■ メッシュ気象データ分析チャレンジ！ ～数値予報データをPythonで可視化しよう～

開催日時：平成30年11月2日 (金) 9:30～18:00

概要：気象庁が公開する様々なグリッドデータについて、オープンソースのプログラミング言語PythonでGRIB2データを処理するプログラムを作成できるようになる。

参加者：30名 (先着順)

■ 平成30年度第3回WXBCセミナー@東京

開催日時：平成30年11月9日 (金) 11:00～16:30

概要：気象データの全体像 + 気象データの入手方法 (午前、希望者のみ)

ガイダンスデータ・降水15時間予報データの概要・特徴 + データの形式 (GRIB2)

ナウキャストデータの概要・特徴 + データの形式 (GRIB2)

観光予報プラットフォームと気象データ (案) 株式会社JTB 様

需給最適化プラットフォームと気象データ (案) 日本電気株式会社 (NEC) 様

参加者：120名 (先着順)

「メッシュ気象データ分析チャレンジ！」準備状況

- ・タイトル : メッシュ気象データ分析チャレンジ！～数値予報データをPythonで可視化しよう～
- ・開催日時 : 11月2日(金) 9:30～18:00
- ・会場 : 気象庁大会議室
- ・参加者数 : 30名
- ・対象者 : 数値予報データ分析に関心をお持ちで、コンピュータプログラミング経験のある方
- ・募集期間 : 10月2日～22日
- ・参加のメリット
 1. 気象庁が公開する様々なグリッドデータについて、詳細な情報が得られる。
 2. オープンソースのプログラミング言語PythonでGRIB2データを処理するプログラムを作成できるようになる。
- ・タイムライン(案)
 - 9:30～ 9:50 (20分) オリエンテーション、自己紹介タイム
 - 9:50～10:35 (45分) 講義I: 気象庁GPVデータ(数値予報・解析雨量・推計気象分布)について [気象庁]
 - 10:35～11:05 (30分) 実習I: 気象庁GPVデータのブラウズ [農研機構様]
 - 11:05～11:20 (15分) --休憩--
 - 11:20～12:20 (60分) 講義II: PythonによるGRIB 2 ファイル処理の基礎 [農研機構様]
 - 12:20～13:20 (60分) ----昼食・休憩----
 - 13:20～14:20 (60分) 実習II: wxbcgribライブラリを用いた数値予報GPVの処理 [農研機構様]
 - 14:20～14:30 (10分) --休憩--
 - 14:30～16:30 (120分) グループワーク(AまたはBについての討議・作業):
 - A. グリッドデータを活用するビジネスの可能性
 - B. 気象に関わる指標の考案と数値予報GPVデータを用いた計算
 - 16:30～16:40 (10分) --休憩--
 - 16:40～17:30 (50分) 発表会
 - 17:30～17:40 (10分) まとめ
 - 17:40～18:00 (20分) 写真撮影、アンケート記入、事務連絡
 - 18:30～ 懇親会(予定)

報告事項 4 . 人材育成WG報告

平成30年度第3回WXBCセミナー@東京 企画案

目的

・ガイダンス データ、降水15時間予報データ、ナウキャストデータについて、一般には説明されることが少ないデータの内容やフォーマット、利用上の注意点などを昨年よりさらに掘り下げて説明し、データの取り扱い方を理解していただく
・観光予報プラットフォームと気象データを組み合わせた飲食店の来客予測や、需給最適化プラットフォームと気象データを組み合わせた食品ロスの削減など、それぞれのプラットフォームにおけるビジネス活用事例を通して、気象データの活用方法を理解していただく

開催日

11月9日（金）

開催場所

気象庁講堂

募集方法

WXBC会員・非会員 同時募集 （定員120名、WXBC会員枠80名、非会員枠40名）

時間割

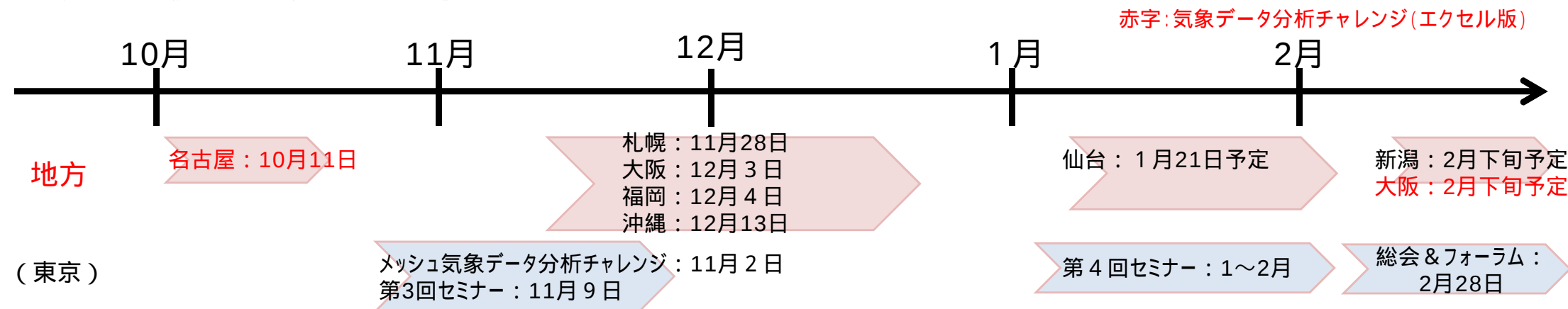
11:00-12:00 気象データの全体像 + 気象データの入手方法（基礎知識：希望者のみ）
13:00-13:10 開会挨拶（人材育成WGの活動紹介）
13:10-13:25 気象庁情報カタログ + GRIB2形式 + 最新のトピックスの紹介
13:25-13:40 ガイダンスデータ・降水15時間予報データの概要・特徴
13:40-13:55 ガイダンスデータ・降水15時間予報データのデータ形式（GRIB2）
13:55-14:10 ナウキャストデータの概要・特徴
14:10-14:25 ナウキャストデータのデータ形式（GRIB2）
14:25-14:40 休憩
14:40-15:20 観光予報プラットフォームと気象データ（案） 株式会社JTB 様
15:20-16:00 需給最適化プラットフォームと気象データ（案） 日本電気株式会社（NEC）様
16:30 閉会

会場後方に、会員企業様のご協力を頂き、気象データに触れることのできる体験コーナーを設置。
コンテンツは検討中。

ガイダンス：数値予報モデルの結果を、実際の予報を行うにあたって利用しやすい形に置き換えたデータ。

報告事項 4 . 人材育成WG報告

平成30年度地方展開企画案



地域	概要
札幌	気象データの概要を説明し、利活用の可能性に触れる。また、今年度は衛星データ活用について説明し、北海道らしさを前面に流水や、雲海の発生等の観光分野を意識した内容を取り入れる。ビジネス事例としては、先駆的に取り組んでいる農業を中心に紹介し展望を感じていただく。
仙台	IoT・AI技術等で更なる利活用が見込まれる気象衛星ひまわりのデータの利活用に焦点を当てた説明を行うとともに、IoT・AI技術を用いたビジネスにおける気象データの利活用事例を紹介する。これにより、気象データとIoT・AIに関連があること、ビジネスの可能性があることを参加者に実感してもらい、気象データを活用したビジネスの先導者になり得る人材の育成に寄与する。
新潟、名古屋	東京管区では、今年度は地方セミナーを「米王国」新潟県において開催し、気象データの活用法や温暖化による影響や気象衛星ひまわりの農業分野での活用法を紹介する。これにより農業分野における気象ビジネスの普及やWXBC加入への糸口になることを目的とする。また、昨年度に地方セミナーを実施した名古屋市では、テクノロジー研修「気象データ分析チャレンジ！」を開催し、昨年度と異なる気象ビジネスの普及のアプローチを行う。
大阪	大阪では様々な業種の参加が見込まれ、特定の産業にターゲットを絞ることは難しい。一方、大阪では昨年度セミナーを2回実施したこともあり、リピーターからはこれまでの事例紹介から一歩進んだ内容を求められている。このため、来年2月前半に「気象データ分析チャレンジ！」を開催することとして、セミナーはそれにつなげていく内容として行う。「気象データ分析チャレンジ！」では、気象データをダウンロードし解析することが中心となることから、セミナーでは「気候リスク管理」をテーマとして、ダウンロードした気象データの活用について紹介する。また、今後利活用可能性の幅が大きい気象衛星ひまわりについても紹介するほか、そのデータを含め様々なデータのICT分野での活用事例を紹介する。
福岡	福岡県では、各種産業においてIoT・AI技術への関心が高い。このため、「IoT・AI技術への気象情報（データ）の活用」をメインテーマとしたセミナーを開催する。今年度は九州運輸局と連携して観光分野の企業・団体にも参加を呼びかける。気象データ（気象衛星データを含む）の全体像及び入手方法の説明によってその利活用の可能性に触れるとともに、関連するビジネスにおける気象データの利活用事例を紹介する。
沖縄	主要産業である観光に焦点をあて、気象データ利活用の可能性や新たな視点を探ることを目的として、最終的に気象データを活用した事業を展開する観光関連事業者、観光関連事業者に利活用を促すツール提供事業者となりうるIT関連事業者、IT関連事業者や観光関連事業者にデータを提供する気象事業者、これら3者を一堂に集めての小規模（10名程度）の座談会を開催する。

(4) WG内勉強会活動報告

WG内勉強会 1「気象ビジネスの取り組み紹介」

時間帯：月次WG開催時間内（14時～17時）で、議事（1時間～1.5時間）終了後に実施

目的：各社の取り組みや体験談等の情報を交換/蓄積することで

- ・気象ビジネス発想のためのキーワードやヒントを得る
- ・人材育成WG活動のためのヒントや供用リソース情報を共有する

紹介内容案：・各社の気象ビジネスや気象データ利用への取り組み

- ・対象分野にフォーカスした背景や理由
- ・ビジネス化への道のり
- ・成功要因（これが決め手）
- ・苦労や失敗談など（裏話 大歓迎）
- ・今後の展開
- ・気象庁への要望、依頼事項 等

計画案（紹介者：アンケート回答で紹介OK回答のメンバーから逐次拡大）

4月：気象ビジネスもろもろ：ハレックス様 <完了>

5月：農業と酪農：農研機構様、ハレックス様<完了>

6月：清涼飲料の販売における気象データの活用：全清飲様<完了>

7月：岐阜大学応用気象研究センターの取り組み：岐阜大学大学院様<完了>

地方における気象情報の活用状況について：アイシーエス様<完了>

9月：航空機の運航における気象の使用方法について：ANAホールディングス様

日本気象協会の気象情報サービス：日本気象協会様

10月：サービス系：ルグラン様、IT系：富士通様

11月：Taxi&IT：Japan Taxi様、<候補> 情報通信器具製造：日本無線様（ゲスト）

12月：<候補> IT系：AITC様

1月：調整中

2月：調整中

3月：マーチャンダイジング・オン様

報告事項 4 . 人材育成WG報告

WG内勉強会2「気象×IoT勉強会」

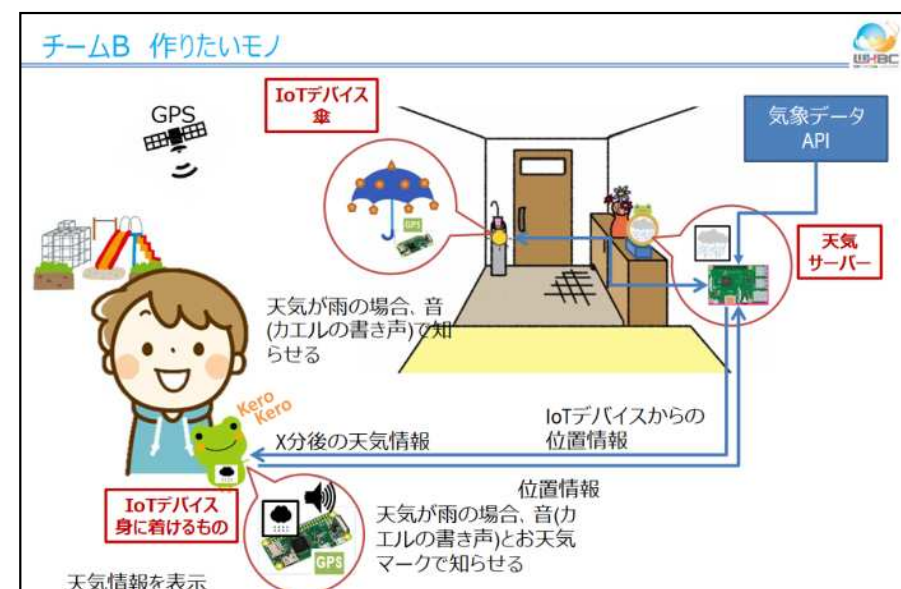
- チーム編成 : チームA (6名)、チームB (8名)
- 6/15 (金) 第1回勉強会@気象庁 ~ 初回顔合わせ
- 7/21 (土) 第2回勉強会@ウルシステムズ (株)
製作物のイメージ固め、必要資材リスト作成
- 8/1 (水) 富士通PLY見学
(富士通 菅波様、日立製作所 米澤様、WXBC事務局)
- 8月 定例の勉強会は休み。チーム内で自主勉強会
- 8/30 (木) 必要資材、気象庁に納入
- 9月 実装開始 毎月第3土曜日午後活動
- 9/15 (土) 第3回勉強会@ウルシステムズ (株)
調達したハードの組み立て、制御仕様確認とソフトウェアの開発の進め方検討など
今後、富士通PLYでの活動も予定



チームA 作りたいモノのイメージ

- 共通の傘 2本 (Arduino傘 or Raspi傘)
- 各種気象量が測れてそれがWebを介して見える化できる
- GPSを使って、2本の傘のお互いの位置情報を検出し、お互いの傘に円周上に実装されたLEDの内、が光ってお知らせ。
- ダッシュボード機能でその地図上のその地点の各種気象量が見える
- Web上で取れる気象データと、実際に取れるデータの連携

Temp.(°C)
Humidity (% R.H.)



資料等詳細 : https://www.wxbc.jp/mypage/jinwg/iot_study/

【新規気象ビジネス創出WG開催実績】

第9回 7/30（火）、第10回 9/28（金）

新規気象ビジネス創出WGの今年度の活動方針について、以下の項目を検討している。

- （１）ビジネスマッチングイベントの開催
- （２）気象データの利活用事例集の更新
- （３）会員紹介ページの作成
- （４）プロジェクト等の進捗、提案等について

報告事項 5 . 新規気象ビジネス創出WG報告

(1) ビジネスマッチングイベントの開催

WXBC会員企業等の連携を更に活発化させることを目的に、ビジネスマッチングイベントを行う。事前に参加希望会員企業等に対してアンケートを実施することにより、各社のニーズ・シーズをより具体化し（見える化）、マッチングの効果を更に高める。IoT推進ラボ主催のマッチングイベント「IoT Lab Connection（Solution Matching）」等を参考にしつつ、WXBCに合った方式でイベントを実施する。

タイトル 第 1 回 気象ビジネスマッチングフェア

目的

- ・WXBC会員企業等のニーズ・シーズの更なる具体化（見える化）
- ・企業間連携の更なる活発化
- ・企業間マッチングによる、新しい気象ビジネスの事例創出

開催日時

2018年11月30日（金） 12:30～18:00（開場12:00）（予定）

開催場所

ベルサール新宿グランド（東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー5F）

参加資格

新規気象ビジネス創出WGメンバーに限らず、WXBC会員企業全体を想定（マッチングの機会を増やす為）

方式など

詳細については、別紙 1「第 1 回気象ビジネスマッチングフェア企画書（概要）」参照。
重要な事項のみ次ページ以降に記載

下線部分修正

報告事項 5 . 新規気象ビジネス創出WG報告

(1) ビジネスマッチングイベントの開催

(個別マッチング)

- ・ 島形式で配置した会場で、1社対1社の商談を20分程度行う。
- ・ 参加者はあらかじめマッチングウェブサービスにて、自社のプロフィール（ニーズやシーズ等）を公開する。
- ・ 参加者は、他の参加者のプロフィールなどを確認し、マッチングウェブサービス上で、商談を希望する相手にアポ取り（時間・ブースの予約）を行う。
- ・ イベント当日、予約した時間・ブースにて商談を行う。
- ・ マッチングウェブサービスは事務局からの招待制とし、原則WXBC
会員のみの招待とする（イベント1週間前の11/23ㄨ）。
- ・ イベント5週間前（10/26メド）には、サービスの利用を開始する。

(全体プレゼンマッチング)

- ・ シアター形式で配置した会場で、5分程度の短い発表（ピッチ）を聴講者に対して行う。
- ・ 発表者は、法人会員企業から希望をとり決定する（10/26ㄨ）。
- ・ プレゼンマッチングについては一般公開し、非会員の聴講も可能とする。
- ・ イベントの4週間前（11/2メド）には、発表企業のタイムスケジュールを決定し発表する。

タイムテーブル（案）

時間（目安）	会場	会場
12:00～12:30	開場	
12:30～13:00	オープニング	
13:00～13:30		全体プレゼン マッチング
13:30～14:00		
14:00～14:30	個別マッチング	
14:30～15:00		
15:00～15:30		
15:30～16:00		
16:00～16:30		
16:30～17:00		
17:00～17:30		フリースペース
17:30～18:00	クロージング	

報告事項 5 . 新規気象ビジネス創出WG報告

(1) ビジネスマッチングイベントの開催

全体スケジュール

9月28日（金）	第10回新規気象ビジネス創出WG ✓ イベント内容説明、決定
10月5日（金）まで	WXBC会員に確定したイベント内容を周知し、WXBCホームページにて、 <u>参加者の募集開始</u> （個別マッチング、全体プレゼンマッチング、パネルの展示） ✓ 個別マッチングに参加するWXBC会員は、マッチングウェブサービスに登録するニーズ、シーズ等の情報を記入して応募
10月26日（金）まで	マッチング用ウェブサービス運用開始 ✓ マッチング期間として5週間を確保
	<u>全体プレゼンマッチングの発表者、パネルの展示者の募集</u> ✕
11月2日（金）まで	全体プレゼンマッチングの発表者を決定し公表
11月16日（金）	全体プレゼンマッチングの発表資料✕
11月23日（金）	<u>個別マッチングの参加者募集</u> ✕ <u>パネルの気象庁への事前送付</u> ✕
11月30日（金）	イベント当日

事前アンケートの集計結果

	希望する	希望しない
個別マッチング	46	31
全体プレゼンマッチング	23	54
展示パネル	23	54

- 回答数77（法人会員303社中）
- 事前のアンケートでは、「個別マッチング」に46社が参加を希望。
- 「全体プレゼンマッチング」は、1時間10社程度の想定であったが、希望者が多いため2時間で実施予定。

報告事項 5 . 新規気象ビジネス創出WG報告

(2) 気象データの利活用事例集の更新

- ・ 昨年度作成した「気象データの利活用事例集」について、今年度も事例を収集し、事例集の更なる充実を図る。
- ・ まずは、WXBCホームページ（一般向け）に事例を掲載し、その後、冊子を更新する。
- ・ 記入様式については、昨年度の回答状況などを踏まえて以下のとおり一部修正を行う。

昨年度の記入様式の項目	変更後の項目	理由
日本標準産業分類中分類	分野（例：農業、漁業、観光等）	取り組みは複数業種にまたがることが多く決めるのが難しいためおおまかな分類に変更。
この取り組みを始めた時期・きっかけ	この取り組みで気象データを利用した背景・経緯	記述して欲しい内容について分かりやすいように修正。
使っている気象情報（の種類）	利用している気象データ	表現を平易に変更。
気象情報以外のデータ	気象データ以外で利用しているデータ	表現を平易に変更。
気象情報の利用が上手くいった/行かなかった要因	その他 ・気象データの利用にあたり工夫した点 ・気象データの利用にあたり困った点 ・気象データの更なる利用の展望について	記述が難しい項目を集約
気象庁・民間気象事業者の気象情報と貴社のニーズのマッチング状況		
貴社の商品・サービスで気象の影響があるもの	（削除）	事例についての内容に絞るため削除。
H P 公開情報等	参考となるH P 公開情報等	表現を平易に変更。

（変更なしの項目）

「事業者名」、「取り組み名称」、「対象者（想定含む）」、「取り組み概要（システムを用いている場合はその概要図）」、「この取り組みの効果（システムを用いている場合は、その利便性等）」

報告事項 5 . 新規気象ビジネス創出WG報告

(3) 会員紹介ページの作成

- 現在、ビジネスWGメンバー限定で、ご協力いただいた11社の紹介を試行掲載中
- 掲載情報については、WXBCホームページもしくは、メールでの提出
- 今後の予定
 - ✓ WXBC会員全体向けに募集をし、WXBC会員限定ページにて公開。
 - ✓ 名簿による公開を行っている法人会員については、社名（URL）のみ掲載する。

■ 会員紹介ページ（試用）

検索ワード:

気象庁

業種	97.国家公務
住所	東京都千代田区大手町1-3-4
支部等の所在地	北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方、沖縄地方
自己紹介	多様な気象データを高度利用し産業活動を創出・活性化を目指します。
シーズ(得意なこと)	気象データの利用についての助言
ニーズ(求めること)	気象ビジネス創出に取り組んでくれる方
保持データ	気象データ全般
担当者氏名	分木
連絡先（E-mail）	info@wxbc.jp
連絡先（TEL）	03-3212-8341（内線4264）

報告事項 5 . 新規気象ビジネス創出WG報告 (4) プロジェクト等の進捗、提案等について

- 以下について、WGメンバーに発表をいただいています。

第9回WG

[進捗]	「衛星ひまわり 8 号における積雪域データの防災・水資源管理における利用可能性」(第 8 回WG 水源地環境センター様) の検討状況について (事務局より報告)
[提案]	データジャケットとブロックチェーンで実現するデータ流通・利活用 (富士通株式会社様)
[提案]	一般財団法人全国地域情報化推進協会(APPLIC)と取り組む自治体向け気象×ヘルスキアのIoT利活用について (仮称) (株式会社ミライト・テクノロジーズ様)

第10回WG

[進捗]	霧プロジェクト (株式会社ハレックス様)
[進捗]	新規気象ビジネス創出WGにおけるICTを活用したマッチング支援 (VirtuoraDXデータ流通・利活用サービスの適用) (富士通株式会社様)
[紹介]	気象ビッグデータの活用で実現する新たなマーケティングとは (株式会社ルグラン様)
[紹介]	気象情報を使ったサービスについて (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社様)

- 清涼飲料及び家電流通分野での気温予測データの有効活用事例
2週間先までの気温予測データを清涼飲料及び家電流通分野における販売計画に活用する実験を実施。商品販売機会ロスの削減への活用や消費者の需要にタイムリーに応えることが可能に。
- 霧プロジェクト
気象衛星観測データや数値予報データ（日射予測を含む）を活用した霧の予測による牧草の収穫時期の決定に向け、北海道浜頓別での実証を計画中。
- 航空分野（新規）
過去の数値予報データと実測データを用いた効率的な運航に関する検討開始。

● WXBCのホームページ (コンテンツ関連) :

- 8月2日 気象庁過去データ試用提供の利用申請ページ公開
- 8月20日 8/3開催「気象データをRで可視化してみよう！」の動画掲載
- 9月13日 新規気象ビジネス創出WG限定で会員紹介ページのプロトタイプ公開

- 進行中 WG紹介ページの作成
 - ・ 新規会員が各WG入会の判断の参考にできるよう、各WGの紹介ページを作成する。
 - ・ 準備でき次第WXBCホームページに掲載
- 進行中 会員紹介ページの作成
 - ・ 新規気象ビジネス創出WGにて企画
 - ・ 各会員企業の紹介ページを作成し、会員企業間のマッチングを容易にする。
 - ・ 新規気象ビジネス創出WGページにて一部会員の紹介を掲載中、今後会員全体に拡大予定
- 計画中 WEB版ビジネス事例集の作成
 - ・ 新規気象ビジネス創出WGにて企画。
 - ・ ビジネス事例集を便利に利用できるよう、PDFのほか、HTMLベースのビジネス事例集を作成する。

報告事項 7. 広報関係 (2/4)

● WXBCのTwitterについて：

- セミナーの募集や各種イベントの報告等を事務局にて積極的につぶやいております。
会員誘致を促す形式のツイートにも取り組んでおりますので、良ければフォローやリツイートをお願いします。
ビジネスマッチングイベント（11/30）の集客のためにも、ご協力よろしくお願いいたします。
- フォロワーは、460（10/2現在）と徐々に増えてきています。
前回（7月10日）338



https://twitter.com/WXBC_jp

報告事項 7 . 広報関係 (3/4)

● ニュースレター発行 :

Vol	発行日	内容
37	8月2日	1 . 気象庁過去データ試用提供のご案内 2 . 総務省の補助金「情報通信技術利活用事業費補助金（地域IoT実装推進事業）」のご案内
38	8月15日	1 . 平成30年度第2回WXBCセミナーのご案内 2 . 平成30年度 気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）セミナー等 シラバスについて 3 . セミナー「ビジネスに役立つ気象情報」のご案内（びわ湖環境ビジネスメッセ2018） 4 . 気象庁過去データ試用提供の運用開始について
39	8月20日	1 . 気象・地震等の情報を扱う事業者等を対象とした講習会のご案内 2 . 中小企業庁の補助金「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」のご案内 3 . ひまわり観測画像の事例紹介（8月掲載分）
40	9月21日	1 . テクノロジー研修 <「気象データ分析チャレンジ！」in 名古屋>の参加者募集 2 . 気象庁過去データ試用提供のデータの追加のご案内 3 . 経済産業省の税制「コネクテッド・インダストリーズ税制（IoT税制）」のご紹介
41	10月2日	1 . テクノロジー研修「メッシュ気象データ分析チャレンジ！～数値予報データをPythonで可視化しよう～」の参加者募集 2 . WXBCホームページ掲示板の書き込み紹介

- WXBCのYouTubeチャンネルの開設について：
 - WXBCの活動等に関する様々な情報を積極的かつ即時に発信することを目的とする。
 - 運用マニュアル案（詳細は別添参照）
 - 名称は「気象ビジネス推進コンソーシアム」とする
 - アップロードは事務局が行う
 - 公開・限定公開・非公開を使い分け、会員向け限定公開コンテンツも作成する
 - 掲載する動画案
 - WXBCの活動に関する動画
 - WXBCセミナー
 - 気象データ分析チャレンジ
 - オンライン研修資料
 - WXBC会長等メッセージ
 - WXBC会員企業の気象ビジネス関連動画（会員からの依頼による）
 - 気象データの利活用促進に資する動画
 - ひまわり観測画像（気象庁観測部作成）
 - 地球温暖化～科学の技術の現場から～（気象庁地球環境・海洋部作成）

報告事項 8 . 今後のスケジュールについて

黒字は確定スケジュール
赤字は要調整

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ○ 平成30年10月19日（金） | 第15回人材育成WG |
| ○ 平成30年11月9日（金） | 平成30年度第3回WXBCセミナー |
| ○ 平成30年11月30日（金） | 第1回気象ビジネスマッチングフェア |
| ○ 平成30年12月～平成31年1月上旬 | 第11回運営委員会開催予定 |
| ○ 平成31年2月28日（木） | WXBC総会、第3回気象ビジネスフォーラム |

【運営委員開催スケジュール感】

- ・第11回：平成30年12月～平成31年1月
- ・第12回：平成31年2月～3月

WXBC主催 第1回 気象ビジネスマッチングフェア 企画書（概要）

- 1．ビジネスマッチングイベント全体像
- 2．イベント内容詳細
- 3．イベント会場詳細
- 4．部屋レイアウトのイメージ
- 5．パネルの展示について
- 6．イベントのタイムスケジュール（変更の可能性あり）
- 7．マッチング用ウェブサービスの概要
- 8．全体的なスケジュール

1 . ビジネスマッチングイベント全体像

気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）では、新たな気象ビジネスの創出を目指すWXBC会員同士が出会い、新たな連携により新規気象ビジネスの創出につながるよう、第1回気象ビジネスマッチングフェアを開催します。

会場では、参加者同士が直接商談を行う「個別マッチング」と、会場内の参加者に対して5分程度の短いプレゼン（ピッチ）でアピールする「全体プレゼンマッチング」の2種類のイベントを実施します。

開催日時	2018年11月30日（金） 12時30分 ～ 18時00分 時間は変更の可能性あり
開催場所	ベルサール新宿グランド（西新宿駅 徒歩3分） 5F https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shinjuku/bs_shinjukugrand  西新宿エリア ベルサール案内図 ① 新宿 グランド ※会議室は5階、ホールは1階 になり、入口は別となります。 「西新宿駅」(丸ノ内線) 1番出口徒歩3分
参加者想定	WXBC法人会員・・・100社（200～300名程度） WXBC個人会員 + 非会員・・・100～200名程度

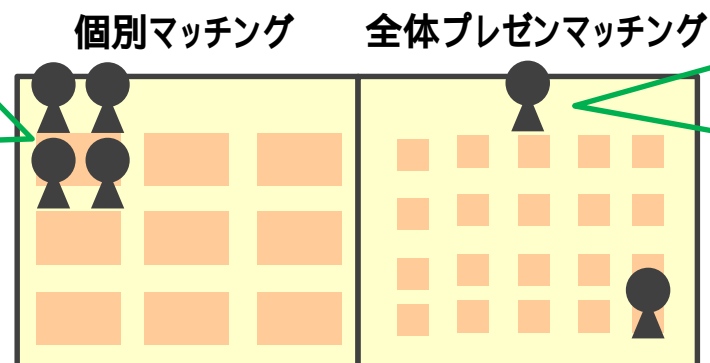
2 . イベント内容詳細

(個別マッチング)

- ・ 島形式で配置した会場で、1社対1社の商談を20分程度行う。
- ・ 参加者はあらかじめマッチングウェブサービスにて、自社のプロフィール（ニーズやシーズ等）を公開する。
- ・ 参加者は、他の参加者のプロフィールなどを確認し、マッチングウェブサービス上で、商談を希望する相手にアポ取り（時間・ブースの予約）を行う。
- ・ イベント当日、予約した時間・ブースにて商談を行う。
- ・ マッチングウェブサービスは事務局からの招待制とし、原則WXBC会員のみの招待とする（イベント1週間前の11/23㍻）。
- ・ イベント5週間前（10/26メド）には、サービスの利用を開始する。

(全体プレゼンマッチング)

- ・ シアター形式で配置した会場で、5分程度の短い発表（ピッチ）を聴講者に対して行う。
- ・ 発表者は、法人会員企業から希望をとり決定する（10/26㍻）。
- ・ 全体プレゼンマッチングについては一般公開し、非会員の聴講も可能とする。
- ・ イベントの4週間前（11/2メド）には、発表企業のタイムスケジュールを決定し発表する。



WXBCへの入会には手続きのため入会申請から入会までに時間がかかる。そのため、入会申請をした企業はみなし会員として、入会前にマッチングウェブサービスを利用できるようにする。

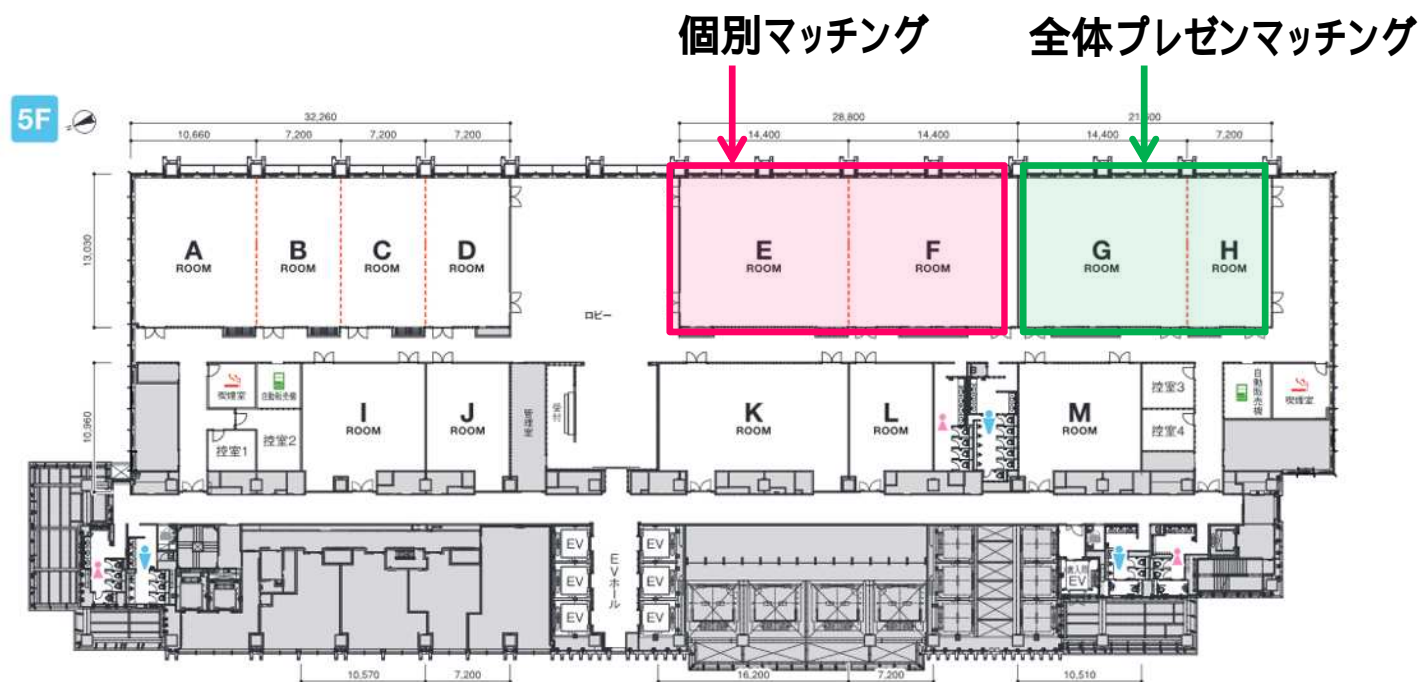
3 . イベント会場詳細（ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F）

（個別マッチング）

- Room E+Fを利用（ 377m^2 ）。
- 6人用の島形式で36ブース程度配置。

（全体プレゼンマッチング）

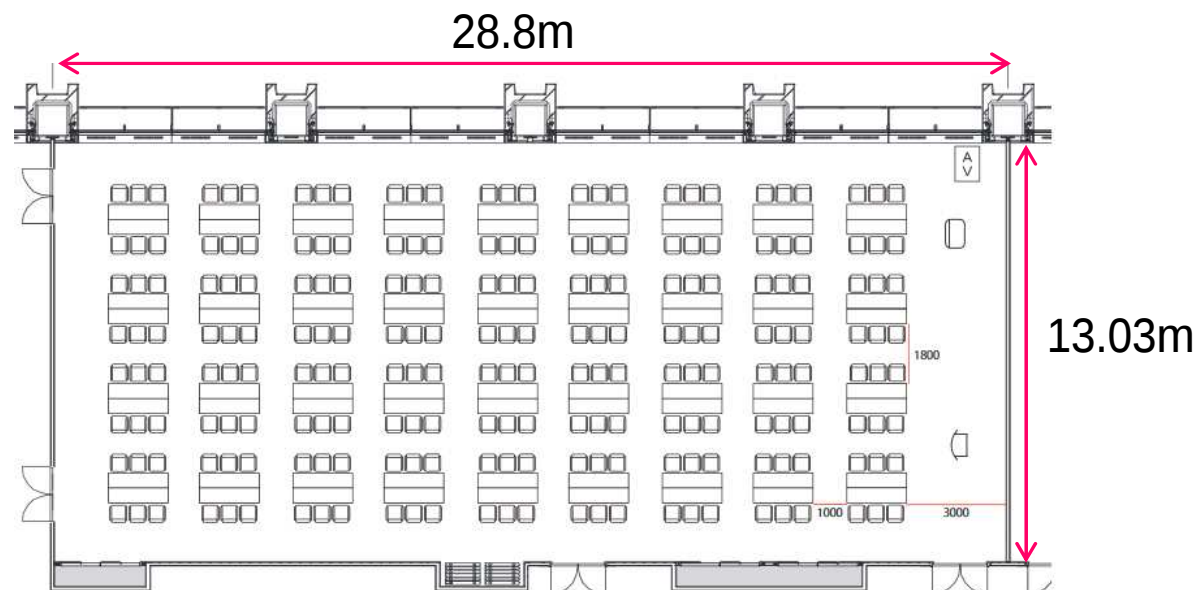
- Room G+Hを利用（ 284m^2 ）。
- 机を用意しないシアター形式で200席程度配置。
- 全体プレゼンマッチングがない時間帯は、自由な商談等を行えるフリースペースとして利用。
- 会場では、パネル展示を行う（最大30社程度）。



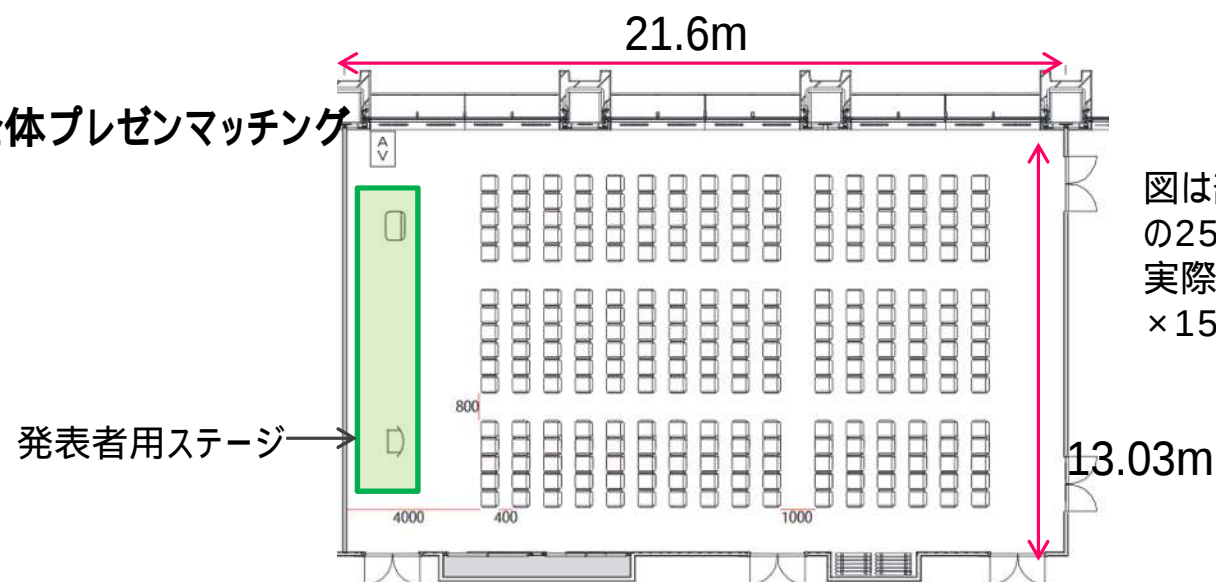
イベント会場図（ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F）

4 . 部屋レイアウトのイメージ（個別マッチング、全体プレゼンマッチング）

個別マッチング



全体プレゼンマッチング

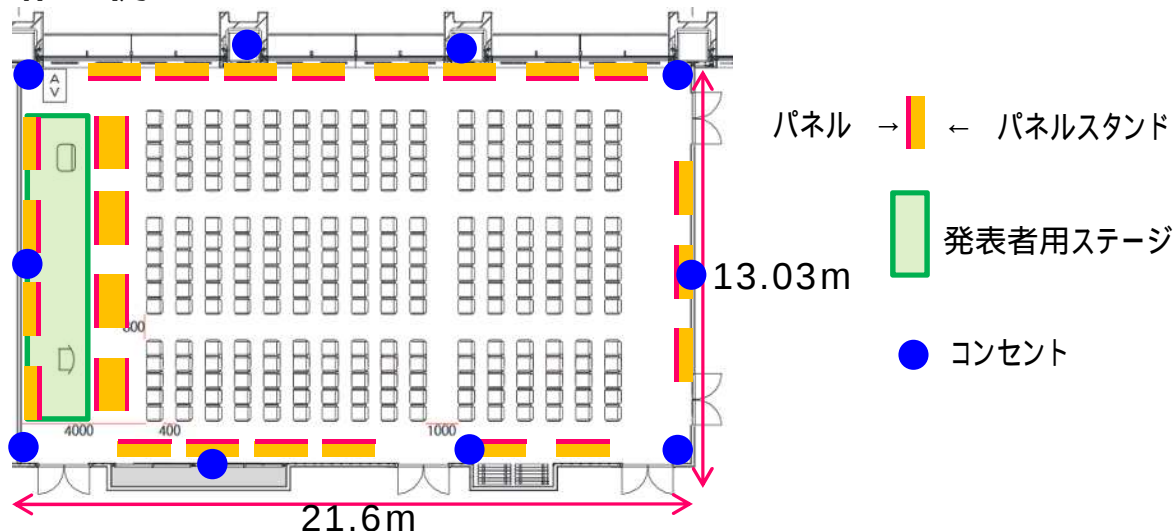


図は部屋の最大収容となる、16席×16列の256席の配置
実際には、やや余裕をもった配置とし、13席×15列の195席程度を想定する。

5 . パネルの展示について

- パネルの展示は、非会員も入室できる全体プレゼンマッチング会場で、パネルスタンドを利用して行う。
- パネルの展示は、WXBC会員の希望者から原則先着順に決定する。
- 説明員を配置できるよう1社のスペースは2m幅程度とする。
 - ✓ 人を配置せず展示だけする会員については、2mのスペースを確保せず並べる。
 - ✓ 最大30パネル程度展示
 - ✓ 机の利用、PC等の持込也可
- 展示する会員は、展示物（パネルの中身）をイベント1週間前（11/23）までに事務局に送付するか、もしくは当日持込を行う。
- パネルの設置は以下の流れで行う。
 - ✓ 全体プレゼンマッチングでは、会場前方に発表者用ステージを設置する（図の緑色エリア）。
 - ✓ 発表者用ステージ周辺以外で予めパネル展示が可能な場所については、事前にパネルを展示しておく。
 - ✓ 全体プレゼンマッチング後、会場の業者がステージを撤去し、その後残りのパネルを展示する。

配置例



パネルスタンドのイメージ



6 . イベントのタイムテーブル（変更の可能性あり）

- 個別マッチングは、商談20分とし、インターバル（休憩・移動）を10分挟み7回行う。
- 全体プレゼンマッチングは、5分×4社で20分とし、インターバル（休憩・名刺交換）を10分程度挟み、4回行う。
- 全体プレゼンマッチングを行う企業名等を記載したタイムスケジュールを事前に公表する。

時間（目安）	会場	会場
12:00～12:30	開場	
12:30～13:00		オープニング
13:00～13:30		全体プレゼンマッチング
13:30～14:00		
14:00～14:30	個別マッチング	
14:30～15:00		
15:00～15:30		フリー商談スペース
15:30～16:00		
16:00～16:30		
16:30～17:00		
17:00～17:30		
17:30～18:00	クロージング	

7 . マッチングウェブサービスの概要

（マッチングウェブサービスを利用したマッチングの流れ）

- 参加希望者に、マッチングウェブサービスへの招待メールが届く。
- 参加者は、自社のプロフィール情報（次ページ参照）を公開する。
- 参加者は、他の参加者のプロフィールを確認し、商談したい相手へアポ取りを行う。
 - ✓ マッチング相手を探すにあたり、タグ検索、キーワード検索が可能
- 相手が承認するとアポが成立するので、マッチングウェブサービスにて時間やブースを相手と調整する。
- プロフィール情報については随時修正が可能。

（その他）

- より多くの個別マッチングを行うため、事務局から参加者にアポ取りを促すメッセージを送ることも可能。
- 当日であっても条件が合えば、アポ取りは可能。

各企業ページとタグ検索(イメージ)

The screenshot shows a mobile app interface for a matching service. At the top, there's a navigation bar with icons for home, search, calendar, chat, and profile. Below the navigation bar is a search bar containing the text '消費財' (Consumer Goods). Under the search bar is a dropdown menu labeled 'タグを選択してください' (Please select a tag). Below the dropdown is a blue button labeled '検索' (Search). The main content area displays a list of participants. The first participant is '木曾 智' (Tomonori Kizugawa), a 'ピンクアンドモチベーション' (Pink and Motivation) executive. His profile includes a description of the company and tags '投資先を探している' (Looking for investment opportunities) and 'HARDWARE'. The second participant is '村本 未来' (Mirai Murakami), also from 'ピンクアンドモチベーション', with the same company description and tags.

アポ取り(イメージ)

The screenshot shows a modal window titled '時間と場所を選択' (Select time and place) with a close button (X) in the top right corner. The modal contains a text block: '時間帯と場所をお選びください。会場内の商談室の利用を希望される場合は「商談室を予約する」をお選びください。' (Please select a time slot and location. If you wish to use the meeting room in the venue, please select 'Reserve meeting room'). Below this, there are two time slot options: '09:00 - 10:00' and '10:00 - 11:00'. Each time slot has two buttons: '商談室を使う' (Use meeting room) and '場所を指定する' (Specify location).

7 . マッチングウェブサービスの概要

（プロフィール情報）

- プロフィール情報には以下の内容を登録し、参加者に公開する。

項目名	様式	補足
企業名（団体名）		企業名（団体名）を記述する。
企業説明	自由記述	プロフィールやマッチングを希望する業種などを記載する。
ニーズ（求めること）	自由記述	ニーズを具体的に記述する。
	キーワード	タグ検索ができるように、「読点（、）」区切りでニーズのキーワードを入力する。 （例：AI、気象事業者、需要予測等）
シーズ（得意なこと）	自由記述	シーズを具体的に記述する。
	キーワード	タグ検索ができるように、「読点（、）」区切りでシーズのキーワードを入力する。 （例：AI、気象事業者、需要予測等）
利用可能なデータ	キーワード	参加者が利用可能なデータについて、記述する。 （例：販売データ、医療データ、農業データ、独自観測気象データ等）
営業可能な地域	キーワード	参加者が営業可能な地域について記述する。

様式が自由記述の項目は、2000文字まで記述可能。

8 . 全体的なスケジュール

9月28日（金）	第10回新規気象ビジネス創出WG ✓ イベント内容説明、決定
10月5日（金）まで	WXBC会員に確定したイベント内容を周知し、WXBCホームページにて、 <u>参加者の募集開始</u> （個別マッチング、全体プレゼンマッチング、パネルの展示） ✓ 個別マッチングに参加するWXBC会員は、マッチングウェブサービスに登録するニーズ、シーズ等の情報を記入して応募
10月26日（金）まで	マッチング用ウェブサービス運用開始 ✓ マッチング期間として5週間を確保
	<u>全体プレゼンマッチングの発表者、パネル展示の募集</u> ✕
11月2日（金）まで	全体プレゼンマッチングの発表者を決定し公表
11月16日（金）	全体プレゼンマッチングの発表資料✕
11月23日（金）	<u>個別マッチングの参加者募集</u> ✕ <u>パネルの気象庁への事前送付</u> ✕
11月30日（金）	イベント当日

2018年10月2日版

第1回 気象ビジネスマッチングフェア (募集要領)



気象ビジネス推進コンソーシアム主催

1 . 概要

気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）では、新たな気象ビジネスの創出を目指すWXBC会員同士が出会い、新たな連携により新規気象ビジネスの創出につながるよう、第1回気象ビジネスマッチングフェアを開催します。

会場では、参加者同士が直接商談を行う「個別マッチング」と、会場内の参加者に対してピッチでアピールする「全体プレゼンマッチング」の2種類のイベントを実施します。

日時	2018年11月30日（金） 12:30～18:00（開場12:00）（予定）
場所	ベルサール新宿グランド（東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー5F） https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shinjuku/bs_shinjukugrand
参加費	無料
主催	気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）
参加資格	個別マッチング、全体プレゼンマッチングの発表、パネルの展示 ・・・気象ビジネス推進コンソーシアム会員企業であること（入会申請中含む。） 全体プレゼンマッチングの聴講、パネルの見学 ・・・会員・非会員を問わず気象データをビジネスに活用してみたいと思う方
応募方法	気象ビジネス推進コンソーシアムホームページの特設ページにて、必要事項を入力のうえ、ご登録をお願いします。 https://www.wxbc.jp/mypage/business_matching/ （仮） 特設ページは、気象ビジネス推進コンソーシアム会員の限定ページになります。
応募締切	個別マッチング： 2018年11月23日（金）（予定） 全体プレゼンマッチングの発表、パネルの展示： 2018年10月26日（金）（予定）
問い合わせ先	気象ビジネス推進コンソーシアム事務局（気象庁） 03-3212-8341（内線 4264） info@wxbc.jp

2 . タイムテーブル（予定）

個別マッチングでは、1社対1社の商談を1回20分程度で7回行う予定です。

全体プレゼンマッチングでは、5分程度の短いプレゼン（ピッチ）をインターバルを挟みつつ、20社程度に行っていただく予定です。

時間（目安）	会場	会場
12:00～12:30	開場	
12:30～13:00		オープニング
13:00～13:30		全体プレゼン マッチング
13:30～14:00		
14:00～14:30	個別マッチング	
14:30～15:00		
15:00～15:30		
15:30～16:00		
16:00～16:30		
16:30～17:00		
17:00～17:30		フリー商談スペース
17:30～18:00	クロージング	

3．イベントの流れ（個別マッチング）

1．応募（11月23日（金）～）

- 気象ビジネス推進コンソーシアムホームページの特設ページにて、イベント（個別マッチング）への参加登録をお願いします。具体的には、参加登録時に、「個別マッチング」への参加希望をチェックし、個別マッチングの参加者用フォームを入力してください。
- イベントへの参加登録には、気象ビジネス推進コンソーシアムへの入会が必要です。入会申し込み中で参加を希望される方は事務局までお知らせください。

2．個別マッチング（商談）の予約

- 参加登録にて「個別マッチング」への参加を希望された方は、イベント用のマッチングウェブサービスが利用可能になります。
- マッチングウェブサービスでは、参加者のニーズやシーズなどのプロフィール情報が公開されますので、ビジネスパートナーとなりそうな参加者を探し、個別マッチングの打診をします。
- 個別マッチングを打診された参加者が了承すると、個別マッチングの時間、ブースが予約されます。
- 登録したプロフィール情報により、事務局から個別マッチングの相手をおススメすることがあります。
- プロフィール情報については随時修正が可能です。

3．イベント当日（11月30日（金））

- 当日は、予約した時間、ブースで商談を行います。

3．イベントの流れ（全体プレゼンマッチングの発表）

1．応募（10月26日（金）※）

- 気象ビジネス推進コンソーシアムホームページの特設ページにて、イベント（全体プレゼンマッチングの発表）への参加登録をお願いします。具体的には、参加登録時に、「全体プレゼンマッチングの発表」への参加希望をチェックし、全体プレゼンマッチングの発表希望者用フォームを入力してください。
- イベントへの参加登録には、気象ビジネス推進コンソーシアムへの入会が必要です。入会申し込み中で参加を希望される方は事務局までお知らせください。

2．全体プレゼンマッチングの発表者の決定

- 応募締め切り後、発表者、スケジュールを決定しお知らせします。
- 発表スケジュールは、気象ビジネス推進コンソーシアムホームページやニュースレター、チラシなどで公開します。

3．全体プレゼンマッチングの資料の準備（11月16日（金）※）

- 発表者は必要であれば資料を作成し、事務局に提出をお願いします（形式：パワーポイント、PDF）。

4．イベント当日（11月30日（金））

- 当日は、12時30分までに会場に集合をお願いします。

3．イベントの流れ（パネルの展示）

1．応募（10月26日（金）ㄨ）

- 気象ビジネス推進コンソーシアムホームページの特設ページにて、イベント（パネルの展示）への参加登録をお願いします。具体的には、参加登録時に、「パネルの展示」への参加希望をチェックし、パネル展示希望者用フォームを入力してください。
- イベントへの参加登録には、気象ビジネス推進コンソーシアムへの入会が必要です。入会申し込み中で参加を希望される方は事務局までお知らせください。

2．パネル展示者の決定

- パネルの展示は原則先着順とし、展示者を決定します。

3．展示するパネルの送付（11月23日（金）ㄨ）

- 展示するパネルは、イベント1週間前までに気象庁へ送付をお願いします。

4．イベント当日（11月30日（金））

- 事前の送付ができなかった方は、当日パネルの持込をお願いします。

（補足）マッチングウェブサービスに登録するプロフィール情報

マッチングウェブサービスには、以下の内容を登録し、参加者に公開します。参加者は、これらの情報を検索・閲覧し、個別マッチングの予約をします。

項目名	様式	補足
企業名（団体名）		企業名（団体名）を記述する。
企業説明	自由記述	プロフィールやマッチングを希望する業種などを記載する。
ニーズ（求めること）	自由記述	ニーズを具体的に記述する。
	キーワード	タグ検索ができるように、「読点（、）」区切りでニーズのキーワードを入力する。 （例：AI、気象事業者、需要予測等）
シーズ（得意なこと）	自由記述	シーズを具体的に記述する。
	キーワード	タグ検索ができるように、「読点（、）」区切りでシーズのキーワードを入力する。 （例：AI、気象事業者、需要予測等）
利用可能なデータ	キーワード	参加者が利用可能なデータについて、記述する。 （例：販売データ、医療データ、農業データ、独自観測気象データ等）
営業可能な地域	キーワード	参加者が営業可能な地域について記述する。

様式が自由記述の項目は、2000文字まで記述可能。

（補足）WXBCホームページのイベント参加特設ページ

気象ビジネス推進コンソーシアムホームページの特設ページにて、以下の内容を記入して申し込みを行ってください。

（全体向け）

- ・ 参加するイベント
 - ✓ 「個別マッチング」、「全体プレゼンマッチングの発表」、「パネルの展示」のうち参加するものにチェック
- ・ 担当者情報（氏名、TEL、E-mail）
- ・ 全体プレゼンマッチングで聞きたい内容・業種

（個別マッチング参加者のみ記入）【11月23日（金）ㄨ】

- ・ プロフィール（自己紹介）
 - ・ ニーズ、シーズ
 - ・ 自由記述とキーワード（タグ形式）による登録
 - ・ 利用可能なデータ
 - ・ 営業可能な地域
- マッチングウェブサービス上で修正できます。

（全体プレゼンマッチング発表希望者のみ記入）【10月26日（金）ㄨ】

- ・ 発表概要

（パネル展示希望者のみ記入）【10月26日（金）ㄨ】

- ・ パネル概要
- ・ 当日の説明員の有無
- ・ 必要な電源数
- ・ 机の要不要